

重要情報シート（個別商品編）
1. 商品等の内容（当行は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド(愛称：クアトロ)		
組成会社（運用会社）	ピクテ・ジャパン株式会社	販売委託元	ピクテ・ジャパン株式会社
金融商品の目的・機能	・ファンドは、投資信託証券への投資を通じて実質的に日本を含む世界の株式および債券等への投資ならびにデリバティブ取引を行うことにより信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。 ・様々なアセット・クラス（資産）への分散投資と投資戦略を活用し、市場環境に応じて資産配分を機動的に変更することにより、「負けない運用※」を目指すファンドです。 ①分散投資の徹底 ②魅力的な運用戦略へ投資 ③機動的に資産配分を変更 ④最新の投資手法も活用 ※「負けない運用」とは、下落リスクを低減しつつ中期的に安定した収益を獲得する運用をいいます。		
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	・この商品は、中長期での資産形成を目的とした方で、主要投資対象や運用内容について十分な知識や経験があるか、もしくは説明を受けることにより理解いただける方を想定して商品を組成しております。 ・この商品は、一定程度の収益を求め、ある程度の元本割れリスクを許容する方向けの商品です。		
パッケージ化の有無	この金融商品はパッケージ化商品であり、マザーファンドを通じて複数のファンドを組み入れるファミリーファンドです。マザーファンドはファンド・オブ・ファンズとなります。投資先のファンドは個別に購入することはできません。	クーリング・オフの有無	ありません。

<次のようなご質問があれば、お取引店までお問い合わせください>

あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。

この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2. リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生ずるリスクの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・価格変動リスク ・信用リスク ・為替に関するリスク・留意点 ・ロング・ショート戦略によるリスク ・カントリーリスク ・取引先リスク ・流動性リスク
（参考） 過去1年間の収益率	-0.7%（2023年8月末現在）
（参考） 過去5年間の収益率	平均 0.8% 最低-10.9%（2022年12月） 最高 9.9%（2021年3月）（2018年9月～2023年8月の各月末における直近1年間の数字）

※ 上記の内容の詳細は、交付目論見書の「投資リスク」「運用実績」に記載しています。

<次のようなご質問があれば、お取引店までお問い合わせください>

上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。

相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生いたします）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	購入代金	手数料率
	1,000万円未満	2.20%（税抜き 2.00%）
	1,000万円以上 5,000万円未満	1.65%（税抜き 1.50%）
	5,000万円以上	1.10%（税抜き 1.00%）
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	<p>実質的に負担する運用管理費用は、概算で最大年率 2.0%（税込）程度（注）に指定投資信託証券の成功報酬（適用されない場合もあります。）が加算された額となります。</p> <p>（注） ファンドは市場環境により積極的に組入比率の見直しを行いますので、実際の投資信託証券の組入状況により変動します。なお、2023年8月末日現在の資産配分比率に基づいた試算値は、年率 1.62%（税込）程度です。</p> <p>信託事務に要する諸費用：信託財産の純資産総額の年率 0.055%（税抜 0.05%）相当を上限とした額が毎日計上されます。</p> <p>その他の費用・手数料等：実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>	
売却（解約）時に支払う費用 （信託財産留保額など）	ありません	
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません	

※ 費用の詳細は、交付目論見書の「ファンドの費用・税金」に記載しています。

<次のようなご質問があれば、お取引店までお問い合わせください>

私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。

費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限はありません。但し、一定の条件により繰上償還する場合があります。
この商品をお客さまが換金・解約する場合には、信託財産留保額はかかりません。
<ul style="list-style-type: none"> ・信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。 ・金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受け付けを取消すことがあります。

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

<次のようなご質問があれば、お取引店までお問い合わせください>

私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5. 当行の利益とお客さまの利益が反する可能性

お客さまがこの商品を保有されている間、当行は組成会社を通して信託報酬の一部（年率 0.770%（税込））をいただきます。これは、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価です。

当行は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別の関係はありません。

当行の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」の「2.利益相反の適切な管理」をご参照ください。

<https://www.mebuki-fg.co.jp/company/fd/>



<次のようなご質問があれば、お取引店までお問い合わせください>

あなたの会社が高得手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6. 租税の概要（NISA、iDeCo の対象か否かもご確認ください）

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。



課税時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して 20.315%
換金（解約）時または償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して 20.315%

・この商品の NISA、iDeCo での当行の取扱いは以下のとおりです。

NISA （成長投資枠）	×	NISA （つみたて投資枠）	×	iDeCo	×
-----------------	---	-------------------	---	-------	---

※ 詳細は、交付目論見書の「ファンドの費用・税金」に記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

販売会社（当行）が作成した「契約締結前交付書面」	https://www.ashikagabank.co.jp/tameru/toshin/pdf/hokan_syomen.pdf	
組成会社が作成した「目論見書」	https://www.wam.abic.co.jp/ap02/fnddoc.do?_com_id_company=C130129&_com_id_product=1&_biz_id_itcode=4231113C&_biz_id_documentclassg=004&_biz_fg_linktype=direct	

契約にあたっての注意事項をまとめた「契約締結前交付書面」、金融商品の内容等を記した「目論見書」については、契約前にお渡します。